



4
2026

発行所
大阪府中央区玉造2-24-22
カトリック大阪高松大司教区
広報委員会
郵便番号 540-0004
TEL (06) 6941-9700 (代表)
TEL (06) 6946-3223 (直通)
FAX (06) 6946-3224 (直通)
E-mail: kyokuhou@ostk.catholic.jp
編集 広報委員会
発行人 前田万葉

本紙
「点訳版」「音訳」
あります。〈無料〉
※ご希望の場合は
下記まで申込み
「点訳版(点字本)」
教区報 ☎06-6946-3223(直通)
☎06-6946-3224(直通)
「音訳(テープ・デジ)」
山口さん ☎0798-22-1649

☆ 司祭叙階 ダイヤモンド祝金祝
☆ 司祭叙階 銀祝
☆ 司祭叙階 銀祝
☆ 2026年第一回春司祭司牧者人事異動
☆ 和歌山紀北教会堅信式
☆ 再宣教150年チャーチなび冊子申し込み
☆ 聞かせてください神様と出会った時のこと
☆ 愛徳カトルメル会2000年記念
☆ 教区報「原稿・資料等の締切は前々月末です。」

☆ 和歌山紀北教会堅信式
☆ 再宣教150年チャーチなび冊子申し込み
☆ 聞かせてください神様と出会った時のこと
☆ 愛徳カトルメル会2000年記念
☆ 教区報「原稿・資料等の締切は前々月末です。」

「教区報」原稿・資料等の締切は前々月末です。

聖香油ミサ

4月1日(水)午前11時
司式 前田万葉大司教
大阪高松カテドラル
聖マリア大聖堂
☆司祭叙階ダイヤモンド・金・銀祝のお祝いも行われます。

福者ユスト高山右近殉教者

列聖祈願のつどい・ミサ

高山右近の信仰に学ぶ

2月7日、デ・ルカ・レンゾ神父(日本二十六聖人記念館館長)を迎えた講演会と高山右近の列聖祈願ミサが開催された。当日は両司教をはじめ135人が参加し、会場は温かく深い祈りの雰囲気包まれた。

第1部 列聖祈願のつどい

講演では、戦国期のキリシタンたちが決して曖昧な教えではなく、現代の私たちと変わらぬ確かな教理を学び、堅固な信仰を保持していたことが強調された。その揺るぎない土台があったからこそ、多くの潜伏キリシタンや殉教者が輩出されたのである。高山右近は1597年、豊臣秀吉による宣教師処刑の報を聞いた際、「オルガン・テイーノ神父と共に殉教できる」と喜び、自らも殉教者となる確信を抱いて恩人たちに遺言を伝えたという。右近が殉教への道を自覚的に歩んでいたことは明らかである。



右近の信仰と霊性を熱く語るデ・ルカ・レンゾ神父

第2部 列聖祈願ミサ

つどいに引き続き列聖祈願ミサがささげられ、説教で前田大司教はデ・ルカ・レンゾ神父の講話を紹介し、「福者ユスト高山右近殉教者の信仰や生き方は、日本ばかりでなく全世界にその福音となる価値があります。また、ごミサの典礼でも、忠実に神に従い、主イエス・キリストに従う宣教師の姿があります。『右近忌の主君はイエス 平和かな』です。右近列聖の『奇跡』と『声望』をお祈りいたしましょう」と語られた。さらに「今年6月ごろには列聖省へ『列聖陳情団』を組んで、訪問しようとの企画がすすめられています。また、誕生地の大阪府豊能町・高山に『右近記念聖堂』(仮称)建立の案も話が出ています。バチカンにも陳情勝ちという効果があるのです。皆さんのご理解ご協力があれば実現可能です」と呼びかけました。私たちも福者の遺した思いを受け継ぎ、個人で、また小教区で右近のとりなしによる奇跡を願い求めましょう。

力強いメッセージである。講演では貴重な史料が多数紹介され、分かりやすい解説に多くの参加者が深い学びを得た。教区のホームページ上のYouTube配信も好評であった。右近は想像以上に卓越した能力と深い信仰を備えたキリスト者であり、その信仰が殉教へと彼を導いたことを、改めて心に刻む機会となった。

(文 右近と歩む会 松本秀樹)

(文 列聖推進委員会 委員長 春名昌哉神父)



右近の遺志を継ぎ、奇跡を願う祈り
左から酒井司教・前田大司教・レンゾ神父

カトリック大阪高松教会管区 青年の祝祭 (Jubilee of Youth) IN ローマ ふりかえりと報告会

1月11日～12日にかけて、カーザファミリアにて「青年の祝祭 in ローマ」のふりかえりと報告会、そしてサクラファミリアでの派遣ミサが執り行われた。

青年の祝祭(2025年7月28日～8月3日)には教区内から13人の若者が参加していた。今回のふりかえりと報告会には、約30人の若者(教区内外・青年の祝祭未経験者を含む)が集まった。

ローマの地で世界中の青年と共に祈り、信仰を分かち合った経験は、参加者一人ひとりの心に「希望の巡礼者」としての強い種を蒔いた。報告会では、ローマの熱気や教皇との出会いを通じ、普遍教会の一員であることを再確認した感動が分かち合われた。また、高山徹神父(青年担当)を助け、日本と外国籍双方の若者の分かち合いを支えたSr. ジョイ(聖母被昇天修道会)からも言葉の壁を超えて心が通い合う瞬間に立ち会えた喜びや、私たちが「地の塩」「世の光」として招かれていることへの感謝のメッセージが寄せられた。

レクリエーション 続く派遣ミサでは、ローマで受け取った光を日本の各共同体へと持ち帰り、福音の喜びを周囲に広めていく決意を新たにしました。この聖年の恵みは参加者だけのものではなく、教会全体で共有されるべき宝である。共に歩む旅路において、青年たちが、聖年の精神を日常生活の中で豊かに実らせることができるよう、引き続きお祈りと共に支えたい。

(文 青少年司牧委員会)



霊における会話

入居者、スタッフ募集

2026年9月、尼崎市園田教会の隣に開業。信徒修道者、司祭のケアを提供。

株式会社 ガラシア WINGS
サービス付き高齢者住宅
ドムス ガラシア

入居者を募集しております。また、看護師、介護職員を募集しております。皆様ご協力をお願い申し上げます。

06-4960-8020
info@gratia-wings.jp

担当 奥本、濱口





アウグスティノ
村田 稔 神父
(大阪高松教区)

1938年12月23日生まれ。66年5月21日、メリーランド州バルティモ(アメリカ合衆国)で叙階。

69年大司教秘書、大阪万国博覧会/キリスト教館を担当。英知大学講師として教えながら、社会福祉法人暁光会ひかり学園園長として多くの子どもたちを支えた。95年阪神・淡路大震災の神戸現地救援本本部の協力司祭。神戸中央、堺ブロック共同宣教司牧の地区長を務め、07年から堺ブロックで司牧、16年から和泉ブロックで司牧を続けている。

お陰様で元気にしています。
皆さんに感謝
神様に感謝

ダイヤモンド祝(60周年)を迎えられた司祭



パウロ三木
和田 幹男 神父
(大阪高松教区)

1938年4月26日、神戸市住吉生まれ。51年、大阪小神学校入学。村田稔神父は同級生。明星中学高等学校と6年間通い、上智大学・大学院で5年間哲学を学ぶ。その後ローマで4年間神学を学ぶ。

66年1月6日に司祭に叙階されました。

その後イタリアで、神学の学位、聖書学の修士号を得て、71年に帰国。英知大学で教えながら、新共同訳の翻訳と編集を務めました。カトリックも「イエズス」ではなく「イエス」を用いることになりましたが、それは私の貢献です。

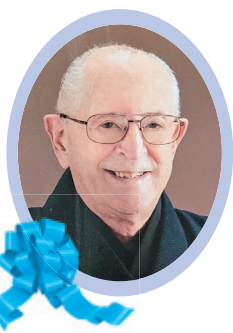
趣味は、絵画鑑賞。特にヨーロッパのルネッサンスの絵画を見ること。カラバッチョ、チマブーエなどキリスト教の信仰と文化の探求は一生を通じての自分のテーマです。

ダイヤモンドは嬉しいことですが、まだ、これから。

ダイヤモンド祝(60周年)を迎えられた司祭



おめでとうございます



池田 純 神父
(オブレート会)

旧姓レモン・ブルゴアン。1938年1月22日、アメリカ、メイン州ウォーターヴィレ生まれ。61年9月30日に来日し66年3月19日叙階。その後、小教区司牧、東京での司牧、養成担当、幼稚園園長、カトリック学校でフランス語、英語、宗教、点字を教え、ソフトボール部の監督も務め、長年、オブレート会会計係も務めた。現在は介護老人保健施設ピアハウス高知に在住。

趣味はスポーツ(アイスホッケー、バスケット、野球、ソフトボール、テニス等々)。キリスト教を深く知るには、西洋だけでなく東洋の神学、文化、習慣に触れないといけないということを聴き、日本に来ることになった。

叙階後数年で脳の大きな手術を受けたり、上長との考えのくい違いがあったりして苦勞も多かったが、ここまで生きるとは思いもよらなかった。皆さん、私のことを我慢してくれてありがとうございます。

ダイヤモンド祝(60周年)を迎えられた司祭



カレン・シームス神父
(聖コロンバン会)

1941年5月14日アイルランド生まれ。59年に聖コロンバン会に入り、60~62年ダブリン大学(アイルランド)で哲学を専攻。卒業後、66年までアイルランドの神学校で勉強し、同年12月21日に司祭叙階。67年に日本に派遣された。東京都、神奈川県、ニュージーランドで司牧。再来日し熊本県、大分県へ派遣。14年間宣教活動に励んだ。その後インドで1年間アシュラム生活(精神的な修行の場)を体験して日本に戻り、諸宗教対話を続けた。2011年より紀伊田辺、龍神、御坊教会そして新宮、串本教会の主任を務めた。

司祭になったことを心から喜んでいます。

教会、司祭というのは神様の無条件の愛を伝えることだけです。今は、山の中で猿、猪、鹿とともに生活していますが、説教しても猿は耳を塞ぎ、聞くまいとしますね。一方で、人は未信者の方々と出会い、交流し、その一人ひとりの尊さを意識し感動する日々です。

日本に派遣されて感謝します。本当にありがとう。

ダイヤモンド祝(60周年)を迎えられた司祭



グイノ・ジェラルド 神父
(パリ外国宣教会)

1948年1月9日、フランス生まれ。パリ外国宣教会に入会し、76年6月26日司祭叙階。77年8月に来日し、大阪教区で宣教活動に携わり、現在は淡路島の洲本教会で奉仕しています。

私はパン職人の孫であり、子どもであり、兄弟であり、おいでもあります。その家族的で伝統的な流れに従って、私も「神のパンの職人」となりました。つまり、皆さんを永遠に養い、生かし、聖なるものとする「いのちのパン」と呼ばれる聖体に仕える者です。

実は、5歳のとき、不思議な方法で、聖体を通して神が私に司祭職への道を示してくださいました。その時以来、聖体を私の人生の中心とし、道であるイエスに養われ、導かれ、伴われて、その愛と救いの証人となることを心に決めました。

今、司祭であり宣教師である私は、特に芸術と美を通して、神のいつくしみを多くの人びとに伝えたいと願っています。豊かな想像力に恵まれ、小物や祈りの本、演劇、オペレッタ、賛美歌、手作りの作品などを制作してきました。もちろん、現代の情報技術であるホームページ、ブログ、YouTubeなども活用し、神の愛と信仰のすばらしさを伝えています。私は幸せな司祭であり恵まれた宣教師でもあります。

**78歳になっても「うるさい者」と言われる私自身の回心を
目指し、神のみ手にふさわしく用いていただき、福音宣教の
豊かな実を結び続けたいと願っています。
どうか皆様のお祈りとご指導をお願いいたします。**



スタニスラオ
清川泰司 神父
(大阪高松教区)

1963年、大阪府堺市生まれ。2001年3月20日司祭叙階。姫路東ブロック、姫路中ブロックでの共同司牧、カトリック中央協議会、高槻・茨木・千里ニュータウン教会での共同司牧を経て、現在は高槻・茨木教会の主任司祭として司牧しています。

これまでの25年間の司祭職を支えてきたのは、司牧の傍ら行ってきた「キリスト教講座」(45回コース)の内容を深めそれを続けてきたことです。

これからも、聖書全体(救いの歴史)の流れを通して見い出される「神の御心(キリスト)」への理解を深め、永遠なる神の愛と義を派遣された場において、多くの方に伝えていきたいと思っております。

銀祝(25周年)を迎えられた司祭

金祝(50周年)を迎えられた司祭



使徒ヨハネ
諏訪榮治郎 名誉司教

1947年7月8日、神戸市生まれ。

76年11月23日司祭叙階。2011年6月19日、高松教区司教叙階。77年園田教会、79年香里教会、81年夙川教会、82年大阪カトリック神学院、89年高槻教会、95年住吉教会、97年中山手、下山手、灘教会、99年神戸中央教会、2005年江ノ口教会を経て、2011年高松教区着任。2022年司教引退し、宇和島・八幡浜教会で司牧。2024年武庫之荘教会。現在に至る。

趣味は木工、自転車づくり、テゼ賛歌。

幼い時から教会は自分の家のような感覚の中、高校卒業と同時に司祭職へのあこがれをいだし神学院に入学いたしました。それは第二バチカン公会議の終了時でありました。教会の刷新運動とともに、司祭叙階され歩んだ感があります。

「わが青春は幸いであった」と同時に、ほろ苦い司祭職スタートからの50年は恵みと発見の日々でした。

主への感謝と賛美のうちに

1949年4月22日、フィリピン生まれ。76年3月27日司祭叙階。76年10月25日来日。76年11月～78年鎌倉で日本語の勉強。2年間高知の中島町教会助任。80年から9年間、福岡の光丘^{ひかりが丘}教会の主任。その後現在まで伊丹。

福岡在住のころから、来日するフィリピン人が増え、主に夜に働く女性たちが増えてきて労働基準法に関するさまざまな問題が起こり始めました。日本司教団からの依頼を受けて、フィリピン人司牧担当の仕事を受けて正式に受けようになりました。

伊丹に住み、大阪を拠点にして日本人の司祭、修道者、信徒や弁護士、報道関係機関などと協力して、さまざまな問題に取り込んできました。

オブレート会での管区長、その後地区長を12年間、伊丹の幼稚園の園長を17年間務めました。

現在は伊丹聖ドミニコ女子修道会の毎日のミサをささげています。

もし、もう一度生を受けても、同じ道を選びます。

感謝の気持ちでいっぱいです。



ラギダオ・ウエンセスラオ 神父
(オブレート会)

金祝(50周年)を迎えられた司祭

1969年12月21日、長崎市生まれ。2001年3月10日司祭叙階。2001年4月より日向学院(宮崎市)・大阪星光学院(大阪市)・サレジオ小・中学校(小平市)等、主にサレジオ修道会の学校に勤め、現在は大阪星光学院で倫理科を担当し、青少年司牧活動にあたっています。

趣味は、お菓子作りや壊れたパソコンの修理などを時折しています。「こんど司祭叙階25年だね!」と、昨年長崎の家族から指摘され、「もうそんなになるのかあ…」と時の流れの早さと、同時に「25年、司祭として何ができたか」と考えてしまいます。

**これまでの歩みを支え、お祈りして下さった多くの方々と、何より神様に感謝を捧げることだけが今自分にできることだと実感しています。
これからも仕える者となられた主にならえますように。**



アシジの聖フランシスコ
吉田利満 神父
(サレジオ修道会)

銀祝(25周年)を迎えられた司祭



チブリアニ・アントニオ神父
(大阪高松教区)

1947年8月6日、イタリアのトスカナ州アレツォ生まれ。2001年5月20日高松教区にて叙階。

67年、20歳のときに、サレジオ会の一員として初来日。その後、神学の2年目、71年5月20日、突然の父の帰天の知らせを受け、イタリアへ戻り、その後司祭への道を断念し、就職。しかし、神の導きにより、キリスト者としての信仰を取り戻しただけでなく、司祭への召命も回復して下さる恵みを受けました。司祭叙階の日が、父の30回目の命日と重なったことは、私の人生における神の忠実さと限りない憐れみの具体的なしるしであると強く感じています。

歴代の司教様方からの許可と祝福のもと、私は、日本、韓国、ベトナムにおいて、また2020年以降は中東、特にペルシャ湾岸地域で「新求道期間の道」を通しての宣教奉仕の恵みに与り、今に至ります。

銀祝 (25周年) を迎えられる司祭



洗礼者聖ヨハネ
徐裕昇神父
(韓国・釜山教区)

1969年10月25日、韓国生まれ。2001年2月1日司祭叙階。韓国で助任司祭として奉仕し、都市貧困層の司牧に従事。その後、宣教司祭としてチリ(サンティアゴ)、アメリカ(ニュージャージー州、ニューヨーク州)の各地で司牧。現在は日本での宣教に備え、日本語研修中。4月19日から、神戸中央教会および住吉教会の協力司祭として着任予定。

司祭叙階25周年の「銀祝」を迎え、この四半世紀の歩みを静かに振り返り、韓国での最初の任地、貧しい人びとの中での司牧、そしてチリやアメリカでの司牧。

そのすべての歩みの中で、「すべては主の御業(みわざ)」であることを幾度となく体験し、主が示してく下さる慈しみに驚かされてきました。今日まで歩いてこられたのは、決して私自身の力ではなく、共同体の皆様の祈りと温かい支えがあったからこそだと、深い感謝とともに実感しています。

私にとって銀祝は、一つの区切りであると同時に「新たな始まり」でもあります。これからも、与えられた場において目の前の一人ひとりを大切にしながら、主とともに喜びをもって歩み続けたいと願っています。皆様のお祈りをお願い申し上げます。

銀祝 (25周年) を迎えられる司祭



チャベス・アルバロ神父
(大阪高松教区)

1975年11月5日ニカラグア生まれ。2001年5月20日、アントニオ・チブリアーニ神父と共に、高松教区で司祭叙階。

「レデンプトリス・マーテル宣教神学院」が開設され、日本、そして世界への福音宣教の道を開いてくださったこと、また、何よりもこの25年間の司祭生活において与えられた神の素晴らしい恵みに、感謝をささげます。

祖国ニカラグアを離れて生活する中で、出会った一人の司祭から「主なる神は忠実であり、約束されたことは必ず果たされることを忘れてはならない」とメッセージをいただき、その後その言葉が真実であることを体験しました。

日本では最初の学びの場となり、18歳で高松教区に来て以来、人間としても精神的にも、そして特にキリスト者として大きく成長することができました。神学校時代に導いてくださった司教様、養成者の方々、高松教区での奉仕のために支えてくださったすべての方々、また、日本語を教えてくださいました先生方、温かく迎えてくださった桜町教会の信徒の皆様にも、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

この年月の中で、主は宣教のあらゆる場において常に共にいてくださいました。叙階後、アメリカで学び、その後アフリカへ派遣され、貧しい人びとの中におられるキリストと出会いました。彼らは物質的には貧しくとも、優しさや霊性において豊かでした。現在はスペインで奉仕しています。無償で受けたものを、無償で与える。それこそが、母である教会の中で体験してきたことです。

最後に、この司祭叙階25周年にあたり、このようなメッセージを書く機会を与えてくださった大阪高松大司教区に感謝いたします。

これからも祈りのうちに結ばれて歩んでまいりましょう。

銀祝 (25周年) を迎えられる司祭



ハルノコ・アントニウス神父
(淳心会)

1970年4月21日、インドネシアのジョグジャカルタ生まれ。2001年8月24日司祭叙階。

1998年来日、大阪大司教区の堺ブロック、南山大学院(神学ライセンス)、東京大司教区の松原教会主任、大阪大司教区の姫路ブロック、東日本大震災復興 Caritas 大船渡ベース、仙台教区の大船渡・釜石主任、米国・シカゴで留学、マニラの淳心会大神学院養成担当司祭、淳心会日本地区長、淳心会アジア管区長(現在)として姫路本部修道院に住む。趣味は映画を見たり、散歩と温泉めぐりをする。

25年間の歩みを振り返ると、豊かなお恵みとしていろいろな出会いや貴重な体験をいただいて、神さまに感謝します。家族と色々な方々のお祈りと支えのおかげで、日本での生活はアットホームになってきました。

自分の夢はイエスの夢と同じように、何処にでも皆は愛されている兄弟姉妹であること。

銀祝 (25周年) を迎えられる司祭

2026年2月21日、2026年春の司祭・司牧者の人事異動が発表された。人事異動の詳細は下記のとおりである。姫路地区より順に、地区単位で記載している。着任日は、復活祭(4月5日)から二週間後にあたる2026年4月19日(日)。

2026年度春人事異動第1次

* Bはブロックの意味

着任日 4月19日付

地区	氏名	現任地	新任地
姫路	Fr. ホルヘ ソーザ	姫路西B 共同	宇和島教会・八幡浜教会 主任
	Fr. レネ バシト カンデラリア C.I.C.M.	豊岡教会 小教区管理者	堺B 共同
【* 豊岡教会の小教区管理は、姫路地区とする】			
神戸	Fr. アマド カバレロ III C.M.	神戸西B 共同：垂水教会 担当	尼崎教会 主任
	Fr. コンスタンシオ コンスルタ C.M.	神戸東B 共同：神戸中央教会・住吉教会 担当	教区外
阪神	Fr. ジョヴァンニ デリア S.X.	尼崎教会 主任	甲子園教会 主任
	Fr. ポルメント セサル アレンケ C.M.	甲子園教会 主任	神戸西B 共同：垂水教会 担当
大阪北	Fr. タラン スン ニュイ C.M.F.	しろきたB 共同	教区外
	Fr. 尹相鎬 C.M.F.	しろきたB 共同	教区外
	Fr. 梅崎隆一 C.M.F.	枚方教会 助任	しろきたB 共同
	Fr. フェリックス マルティネス C.M.F.	本部	しろきたB 協力
	Fr. 昌川信雄 C.M.F.	教区外	枚方教会 助任
大阪南	Fr. 大久保武	藤井寺教会 主任	教区外(カトリック中央協議会)
	Fr. 鄭海成	堺B 協力	堺B 共同
	Fr. ジャンマリー カゼンガ C.I.C.M.	堺B 共同	教区外
	Fr. 春名昌哉	堺B 共同	徳島地区 共同
	Sr. チャンティ フェ	堺B 協力	教区外(3月31日付)
	Fr. 安旻祐	布施教会・枚岡教会 主任	かわちB 共同
	Fr. 崔周永	八尾教会 主任	玉造教会 協力
	Fr. ホセ ラモン ルビオ モルデンハウエル	玉造教会 協力	香川地区 共同
	Sr. ユーン ティ ビック リュウ	玉造教会 協力	離任(3月31日付)
	Fr. 徐裕昇	司教館(日本語研修)	神戸東B 協力：神戸中央教会・住吉教会 担当
徳島	Fr. 申繁時	徳島地区 共同	藤井寺教会 主任
	Fr. タランガ ナマル ペレラ O.M.I.	教区外	徳島地区 協力
香川	Fr. 高山徹	西讃B 共同：丸亀教会・善通寺教会 担当	かわちB 共同
	Fr. イスマエル ゴンザレス I.E.M.E.	西讃B 共同：坂出教会・池田教会 担当	香川地区 協力
愛媛	Fr. 赤波江豊	宇和島教会・八幡浜教会 主任	姫路西B 共同

<その他>

Fr. ウルリッシュ モカム サー S.X. → 箕面教会 居住(日本語研修)

C.I.C.M. …(淳心会)

C.M. …(聖ビンセンシオの宣教会)

C.M.F. …(クラレチアン宣教会)

O.M.I. …(オブレート会)

I.E.M.E. …(スペイン外国宣教会)

S.X. …(ザベリオ宣教会)

2026年度春人事異動第2次

*Dn.(助祭)

地区	氏名	現任地	新任地
大阪南	Dn. 丹生信雪		堺B 協力

<転入籍>

Fr. ブイング ブレーズ(淳心会より転入籍：2025年9月10日付)

Fr. 森一幸(東京大司教区より転入籍：2026年2月9日付)

Fr. 朴起徳(釜山教区より転入籍：2026年2月9日付)

<その他>

Dn. グェン アン サオ → 日本語研修(福岡：サン・スルピス会)



和歌山紀北教会の紹介

- ◆ 守護 教会の母聖マリア
- ◆ 住所 和歌山市屋形町3-33
- ◆ ☎ 073-425-1069
- ◆ 設立年月日 2020年統合
- ◆ 信徒数 1,015人
- ◆ 🏠 ホームページ ▶▶▶



◆ 特色
2020年4月1日に屋形町教会・今福教会・古屋教会・海南教会がブロック小教区化し、和歌山紀北教会となりました。現在は、和歌山紀北教会屋形町聖堂・今福聖堂・古屋聖堂・海南聖堂となっています。

合同ミサ後の交流会では、外国人の方が自国のお料理を作ってくださいる機会もあります。日本語があまりわからない外国人の方も奉納など積極的に参加してください。中・高・大学生の侍者による答唱詩編は月に1回行われます。

◆ おすすめの店

- ・ 「や万志多」 「ももやま」 (和食)
 - ・ 「レストラン フライヤ」 (洋食)
 - ・ 「ラタヴェルナ コヴァ」 (イタリアン)
- どのお店も教会から歩いて5〜6分。



聖霊の香りに包まれて

和歌山紀北教会堅信式

立春を過ぎた2月8日、和歌山紀北教会の屋形町聖堂で堅信式が執り行われた。酒井俊弘補佐司教、ヘスス・マリア・モラレス神父、グエン・クオク・トゥアン神父の共同司式のもと、7人の若者が聖霊の賜物を受け、新たな歩みを踏み出した。



聖霊の火を灯し、キリストの証し人として

2025年4月から準備を始めた受堅者たち。学業や部活動に追われ、時には「なぜ今、信仰を学ぶのか」と迷う姿もありました。しかし、司祭や修道者、共同体のみんなが温かく見守り、歩みを共にした日々は、全員にとって信仰を見つめ直すかけがえのない時間となりました。

酒井司教は説教で「堅信は受堅者だけでなく、ここに集う全員の信仰に火を灯すもの」と語りかけました。内なる声と外からの声の重なり合う時、私たちは聖霊の声を聞いているのだという教えは、参列者の心に深く響きました。さらに『悪魔の手紙』を引き合いに出しながら、失敗を恐れず「ゆるしの秘跡」に頼ること、そして弱さを認め合って共に生きる大切さを分かち合われました。



按手によって聖霊の賜物を祈り求める

式後、受堅者からは「按手を受けた時、温かくて安心した」「聖香油の香りに包まれて、自分らしく歩み出せる気がする」といった声が聞かれました。これから先、彼らが困難に出会ったとしても、この日の香りと温もりを思い出し、それがイエスの御心を感じるきっかけとなることを祈ります。

(文 和歌山紀北教会信徒 深堀安希子)

150年の軌跡(歴史)と、これからの希望の道(なび)

* 両冊子は皆さまからの献金に対する返礼として寄贈いたします。
ご希望の方は下記手順によりお申し込みください。

旧カトリック大阪大司教区 再宣教150年 記念誌

* 記念誌ご希望の方は

QRコードを読み込んで

ください(詳細) ▶▶▶

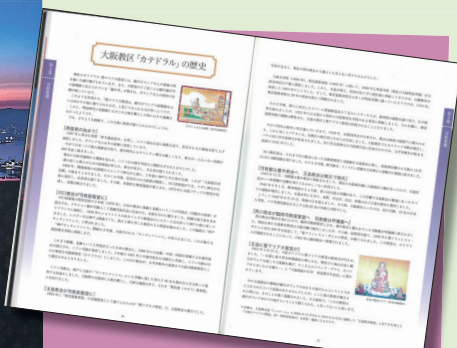
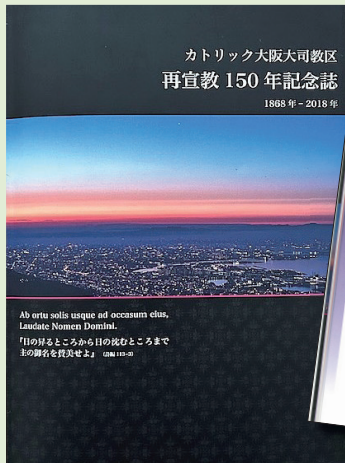
* お問い合わせ

☎ 06-6941-9700



献金振込先

郵便振替：00910-2-17639
名義：カトリック大阪高松大司教区



カトリック

大阪高松大司教区

チャーチなび 2025



【申し込み手順】

- ① 申込：郵送、FAX、Google フォーム
- ② 献金の振込 (1,000円以上 / 1冊)
- ③ 献金振込先

郵便振替：00910-2-17639
名義：カトリック大阪高松大司教区

※ 通信欄には、「チャーチなび 2025」「希望冊数」「お名前」「住所」を明記(振込手数料は各自負担)領収書の発行はいたしかねます。振込記録を保存ください。

④ 振込確認後

教区本部事務局から発送もしくは、一週間後に教区本部事務局で受取り。

* 教区本部事務局来訪時の現金受け渡しは不可。必ずお振り込みをお願いいたします。

⑤ 教区 HP より申込書をダウンロードして、郵送か FAX で申込書を送付。

QRコードからも申し込み可能



← 郵送・FAX 版

Google フォーム版 →





聞かせてください 神さまと出会った時のこと 〜エマオへの道で〜

特別編 西経一神父
(神言会・長崎南山中学校高等学校校長)

愛する子
というあの
最初の言葉
だった。
私たちがも
同じ。見捨
てられたよ
うに感じる

「マタイ11章25節、ギリシャ語では「知恵ある者や賢い者には隠し、ネーピオスにお示しになりました」とある。「ネーピオス」とは、「赤ん坊」。「幼子のようなもの」ではない。

海に行き着く。海と天国です。賢い者には隠して、赤ん坊に示した。赤ん坊は何も持たず、何の理由も求めず、ただ存在している。無条件の愛を受けることの大切さ。神はあなた自身を愛している。行いではなく、存在そのものを愛してください。

お父さんが「高い高い」とあやすと、赤ん坊のあなたは喜んで。お母さんは「よしよし、いい子」と抱いてくださった。

自分の無力さ、罪深さ、同じ過ちを繰り返すことを知ること、神の慈しみの深さを身に染みて感じる。「主よ、あわれみたまえ、キリスト、あわれみたまえ」と唱える時、「私の無力をどうかあわれんでください」と実感すること、心が謙虚に、慈しみを持って満たされる。

誰もが「赤ん坊」を体験している。

幼子のように無条件に「いい子」と宣言される、それが神の最初の言葉。ヨルダン川で洗礼を受けた、まだ何も成し遂げていないイエスに「あなたは私の愛する子」という声が天から響いた。これが、十字架の上で人類のために命を捧げた後に聞こえたのなら「よくやったから愛する子だ」となる。

「春の小川」という歌がある。人の目は、姿やさしく色うつくしい花に向かい、小川には目をやらない。神の愛の素晴らしさは、そのさらさら流れる小川。父母の愛も、恵みも、いたわりも、何も語らず流れていく。人は花を見て「きれいだ」と言う。しかし、その向こうで静かに流れているものがあ

自分自身が自分であるという理由だけで救われることを知れば、心は自由になり、あとは自然に神の恵みが流れ出る。熱心さや完璧さを競う必要はなく、それぞれの状況の中で与えられた愛を受け入れればいい。順調でないときも、ポロポロになった時も、神の無条件の愛は変わらず届いている。それを理解することが、信仰の本質。

ただ流れていればいい。ただ息をしているだけでいい。花のように、川は何も言われず流れて、最後は

時にこそ、父から母から理由なしにかけられた「いい子だよ」という言葉を思い出してほしい。それは神の声の写し。理由も交換条件もなく「あなたは愛されている」と宣言されたその事実がすべての始まり。

人間は弱い。しかし、それでもなお「天と地の主である父よ、あなたを褒めたたえます。あなた

はこれらのことを知恵ある者や賢い者には隠して、小さな者たちにお示しになりました」というみ言葉

を信じている。この「小さな者」とは何も差し出せない存在。外見は大人でも、心の奥は傷つき、汚れ、黒く染まっています。

「よくやったから愛する子だ」となる。しかし、十字架の上では天からの慰めの声はなかった。むしろ「わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか」と叫ばれた。それでも命をささげることができた根拠はただ一つ、「あなたは私の

愛する子」というあの最初の言葉だった。

私たちがも同じ。見捨てられたように感じる

「あなたを褒めたたえます。あなたはこれらのことを知恵ある者や賢い者には隠して、小さな者たちにお示しになりました」というみ言葉

を信じている。この「小さな者」とは何も差し出せない存在。外見は大人でも、心の奥は傷つき、汚れ、黒く染まっています。

「よくやったから愛する子だ」となる。しかし、十字架の上では天からの慰めの声はなかった。むしろ「わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか」と叫ばれた。それでも命をささげることができた根拠はただ一つ、「あなたは私の

愛する子」というあの最初の言葉だった。

私たちがも同じ。見捨てられたように感じる

「あなたを褒めたたえます。あなたはこれらのことを知恵ある者や賢い者には隠して、小さな者たちにお示しになりました」というみ言葉

を信じている。この「小さな者」とは何も差し出せない存在。外見は大人でも、心の奥は傷つき、汚れ、黒く染まっています。

「よくやったから愛する子だ」となる。しかし、十字架の上では天からの慰めの声はなかった。むしろ「わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか」と叫ばれた。それでも命をささげることができた根拠はただ一つ、「あなたは私の

愛する子」というあの最初の言葉だった。

私たちがも同じ。見捨てられたように感じる

「あなたを褒めたたえます。あなたはこれらのことを知恵ある者や賢い者には隠して、小さな者たちにお示しになりました」というみ言葉

を信じている。この「小さな者」とは何も差し出せない存在。外見は大人でも、心の奥は傷つき、汚れ、黒く染まっています。

「よくやったから愛する子だ」となる。しかし、十字架の上では天からの慰めの声はなかった。むしろ「わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか」と叫ばれた。それでも命をささげることができた根拠はただ一つ、「あなたは私の

愛する子」というあの最初の言葉だった。

私たちがも同じ。見捨てられたように感じる

「あなたを褒めたたえます。あなたはこれらのことを知恵ある者や賢い者には隠して、小さな者たちにお示しになりました」というみ言葉

を信じている。この「小さな者」とは何も差し出せない存在。外見は大人でも、心の奥は傷つき、汚れ、黒く染まっています。

「よくやったから愛する子だ」となる。しかし、十字架の上では天からの慰めの声はなかった。むしろ「わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか」と叫ばれた。それでも命をささげることができた根拠はただ一つ、「あなたは私の

愛する子」というあの最初の言葉だった。

私たちがも同じ。見捨てられたように感じる

「あなたを褒めたたえます。あなたはこれらのことを知恵ある者や賢い者には隠して、小さな者たちにお示しになりました」というみ言葉

を信じている。この「小さな者」とは何も差し出せない存在。外見は大人でも、心の奥は傷つき、汚れ、黒く染まっています。

「よくやったから愛する子だ」となる。しかし、十字架の上では天からの慰めの声はなかった。むしろ「わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか」と叫ばれた。それでも命をささげることができた根拠はただ一つ、「あなたは私の

愛する子」というあの最初の言葉だった。

私たちがも同じ。見捨てられたように感じる

「あなたを褒めたたえます。あなたはこれらのことを知恵ある者や賢い者には隠して、小さな者たちにお示しになりました」というみ言葉

を信じている。この「小さな者」とは何も差し出せない存在。外見は大人でも、心の奥は傷つき、汚れ、黒く染まっています。

「よくやったから愛する子だ」となる。しかし、十字架の上では天からの慰めの声はなかった。むしろ「わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか」と叫ばれた。それでも命をささげることができた根拠はただ一つ、「あなたは私の

愛する子」というあの最初の言葉だった。



記念ミサ参加者全員で記念写真

愛徳カルメル修道会 200年記念ミサ

ゆるし合い、生かし合う、愛の実践

2月26日、日本管区主催のもと前田万葉枢機卿とアマド・カバレロ川神父、創立者同士が関係の深かったクラレチアン修道会のフリオ・トレス神父による共同司式で修道会200周年記念ミサが、愛徳カルメル会本部修道院でおこなわれた。

よってあらためて、200年の歳月を思い巡らせました。

希望の星である志願者が携えるろうそくの灯を先頭に、大司教・司祭が入堂し、説教では、神によってキリストの愛を説くために遣わされていること。ゆるし合い、生かし合う愛の実践の大切さを促されました。ミサの中で、姉妹一同は誓願更新をさせていただきました。折々に作られた数曲の日本管区オリジナルの聖歌をおささげすることができました。

記念ミサの3日前から集まり、これからの個別課題を考え合う集いと、堀江節郎神父様(イエズス会)同伴による「二百年からの旅立ち」のミニ黙想を経てミサに与ることができて嬉しかったです。また、海外在住のシスターたちはオンラインでの参加でしたが、施設から外出が許されたシスターを含め、日本管区のほぼ全員が参加できたことは、高齢化する私たちにとって何よりの喜びでした。



大司教と管区長によるケーキカット

今回は私どもの感謝のミサということで、他の方をお誘いしていませんでしたが、この記念の年の間に各共同体が関わらせていただいている小教区の方々と一緒に祈り、魅力ある創立者の生き方を紹介できたらと希望しています。



フリオ神父のあいさつ

※創立者についての本、数冊ですがお分けできます。興味のある方はご連絡ください。
☎078・707・3116

(愛徳カルメル修道会
シスター 萩原登久子)

サクラファミリアで偶数月に開催中

来、見なさい



ヨハネ 1・46

※詳細は各主催者へ直接お問い合わせください。

サクラ ファミリア主催

聞かせてください 神さまと出会った時のこと～エマオへの道で◆大阪高松教区で働く司祭・修道者ご自身の体験をさく
日時 4/23(木)10:30～12:00
おはなし 和田幹男神父

4月開講予定◆聖書ヘブライ語講座

講師 小脇光男先生
(熊本大学名誉教授)
日時 4/10・4/17・5/8・5/22(金)17:00～18:30

コレーン神父の聖書講座◆「A年の主日のみことばに生かされて」

日時 4/13・5/11・6/8・7/13(月)13:30～15:00

和田幹男神父◆聖書研究講座「新約聖書概論」

日時 4/15(水)10:30～12:00

和田幹男神父◆新約聖書ギリシア語(初級)

日時 4/13・4/27(月)17:00～18:30

祈りのよる◆灯りをかこみ、ともに祈る静かな時間を

日時 毎月17日19:00～19:30

問 サクラ ファミリア
☎06-6225-8871
✉f.sacra@ostk.catholic.jp

結婚準備講座

六甲教会
日時 次回9/6(日)～9/27(日)14:00～16:00(4回)
参加費 ¥5,000(2名)
問 ☎078-851-2846
✉renraku@rokko-catholic.jp
※事前要問合せ(年2回)

黙想会

宝塚黙想の家
◆日帰り黙想会
日時 4/23(木)・4/24(金)10:00～15:30
指導 染野治雄神父(4/23) 山内十束神父(4/24)
参加費 ¥3,500

◆一泊黙想会
日時 4/17(金)17:00～4/18(土)15:30
指導 染野治雄神父
参加費 ¥9,000

◆新約聖書の世界への旅
日時 第1(月)19:00～
指導 山内十束神父

◆祈りを深めるための聖書の基本
日時 第1・3(水)10:00～12:00
指導 山内十束神父
参加費 ¥1,000

◆カトリック教会のカテキズム
日時 4/15(水)10:00～12:00

指導 染野治雄神父
参加費 ¥1,000

◆柱の黙想
日時 第2(木)10:00～12:00
指導 山内十束神父
参加費 ¥1,000

◆教会の教えと歴史
日時 第4(木)10:00～12:00
指導 山内十束神父
参加費 ¥1,000

問 宝塚黙想の家
☎0797-84-3111

講座・研修会

絵本と聖書を語ってみましよう◆絵本と聖書の世界を身近に感じて活かす
日時 4/10(金)19:30～21:00
場所 ZOOMオンライン開催(QRコードより入室)

主催・問 松浦信行神父
☎087-831-6659

高橋聡神父◆カテキズム黙想会

日時 4/23(木)13:30～16:00
場所 サクラ ファミリア
主催 アネモネの会
問 高橋聡神父
☎090-6329-5709

講座◆小さくされた人々のための福音

日時 第3(金)10:00
場所 神戸学生青年センター
参加費 ¥1,000
主催 神戸国際支縁機構
問 岩村 ☎070-5045-7127

集い

ギノ・ジェラルド司祭叙階50周年◆福音宣教の活動を支えてくれた皆さまへ感謝コンサート

日時 4/29(祝・水)15:00無料
場所 神戸中央教会
問 洲本教会 ☎0799-24-5144

大阪JOC◆働き方や生き方について現状から共に考える15～35歳までの若者の集い

日時 第2(土)14:00～16:00
場所 大阪YCWセンター(またはZoom)
問 レネ神父・水元
☎072-232-8063
✉osakaycw@gmail.com
HP http://www.ycw.jp/

要約筆記グループ“エフアタ!”練習会◆教区ミサに要約筆記(文字表示)をつけるボランティア

日時 第2(日)19:00～21:00
場所 オンライン・パソコン使用
問 障がい者委員会
✉dis@ostk.catholic.jp

精神・発達症(障害)者自助グループ◆オリーブの集い 守秘義務と分かち合い

いつ来てもウェルカム
当日キャンセルOK
日時 第3(日)14:00～16:00
場所 姫里集会所
参加費 無料(12月のクリスマス会だけ実費)
申込 吉川まで
問 ☎078-583-2525
✉yassan.yoshikawa@nifty.com

点訳ネット「レジナ」◆勉強会

対象 パソコン点訳に関心のある方、視覚障がい者の情報共有に関心のある方
日時・場所 奇数月 第2(火)13:30～15:00 姫里集会所
偶数月 第2(水)13:30～15:30 北須磨教会
申込 笠松まで
問 ☎090-5661-4324
☎072-722-0271
✉kasamatsu-yukisan@iris.eonet.ne.jp

聴覚障がい者ボランティア会◆聖書の手話表現の学び・教区活動の手話通訳者派遣

対象 手話に興味をお持ちの方 ※手話講習会ではありません
日時 第1・3・5(水)10:00～14:00
場所 姫里集会所
問 障がい者委員会
✉dis@ostk.catholic.jp

マザー・テレサ共労者の集い◆大阪梅田教会

日時 第1(土)14:00
4・5月はお休み
問 高塚 ☎06-6921-0693

◆加古川教会

日時 第3(火)13:00～14:30
問 森田 ☎079-426-5704

「復活のろうそくの祝福」の試用にあたって

教会共同体にとって最も大きな喜びである復活祭が近づいています。近年、復活徹夜祭が行われなかった教会堂や礼拝堂において用いる復活のろうそくを祝福する祈りを求める声が、多くの司牧者から寄せられるようになりました。このような状況を受け、日本カトリック典礼委員会では、復活の八日間中のミサ(復活の主日の場合は「日中のミサ」)または「朝の祈り」の初めに用いることができる、復活のろうそくを祝福する式次第を作成し、2025年度臨時司教総会で試用が認可されました。この「復活のろうそくの祝福」(試用版)は中央協議会WEBサイトにてダウンロードできます。



ひとりで悩まないで～私たちに聴かせてください～カトリック大阪高松大司教区ハラスメント相談窓口
※委員会はハラスメント全般を視野に入れることになりました。そのため、名称変更します。
電話番号:06-6941-9718
相談窓口受付時間 月・火・金曜日(祝日を除く) 午前10時～午後4時
あなたの悩みを親身になって受け止めます。秘密は必ず守られます。

大阪のカトリック病院 ガラシア病院
信者の皆様、入院はガラシア病院へどうぞ!
【一般病院との違い】
*チャプレンが常駐して秘跡の授与ミサは、主日に病院と老健で交互にミサに与れない時は各部屋で「聖体拝領」さらに「病者の塗油」等は適宜に
*霊的ケアを専任の神父とシスターが担当 562-8567 箕面市粟生間谷西 6-14-1 ☎072-729-2345 医療法人ガラシア会(チャプレン 松本信愛)

案内・報告 主日ミサ時間変更
【串本教会】▽11時半
【新宮教会】▽9時
※変更は(4月5日)～10月25日)まで。
【岬教会】▽8時半(第1週の主日:前夜の土曜日17時)

行事等日程		
4月		
9	木	【常任司教委員会】
11	水	11時 聖香油ミサ 司祭経年祝(カテドラル)
12	日	神のいつくしみの主日
22	水	10時半 顧問会・責任役員会 13時半 司祭評議会
26	日	世界召命祈願の日
5月		
10	日	世界広報の日(献金)
14	木	【常任司教委員会】
17	日	主の昇天
20	水	10時半 甲山墓参

4月司教予定

「行事等日程」以外
・4/12 芦屋教会・甲子園教会合同堅信式(†M)
・4/13～19 司牧者研修会(マレーシア)(†S)
・4/19 夙川教会堅信式(†M)
・4/26 神戸中央教会堅信式(†S)
・4/28～29 校長・理事長・総長管区長の集い(†M)(†S)
†M=前田万葉枢機卿
†S=酒井俊弘補佐司教

教皇パウロ六世が使徒的勧告「福音宣教」を発表して五十周年を迎えた、この記事を見た。「福音宣教」という用語が、それほど前から使われていたことに驚かされた。その「宣教」という文字に囚われ、それは司祭や修道者が取り組むものと考え、信徒は多いだろう。しかし、教会共同体の一メンバーとして社会に溶け込み、その時々の人びとの課題に触れ、祈りのうちに生きる姿勢も十分に「福音宣教」に取り組んでいくことになるのではないだろうか。(文 神戸地区 堀口和弘)

リスナーの方 募集中! 小さきテレジアの会

「大阪高松教区報」を音訳し、データCDに録音して、大阪高松教区の視覚障害者の方々にお送りしています。データCDは、プレストーク・パソコン・MP3対応のCDラジカセで聞くことができます。

音訳というのは、一般に認識されている朗読とは、すこし違います。書かれている内容を正確に、あまり感情をこめすぎずに、ニュースを読むアナウンサーのイメージです。

問合せ 夙川教会小さきテレジアの会
☎ 0798-22-1649
Fax 0798-34-3585
担当: 音訳(ディジー)山口